



INORI[®]
ORCHESTRA

大切な人を想ひ、その存在に感謝する。
改めて人と人の絆を再確認する。
そして、今の自分の存在を支えてくれるもの、祈り。
世界中の風と文化に共通した。私たち人類にとって、
何がえのなき感情の心とつです。時代や暮らしによって
その姿は変化してきましたが、その本質はいつも同じもの。

時代・人・価値観が変わり、生活自体がまったく違う
ものとなった現代。古いものと、新しいもの、伝統と
進化がまざりあう中で私たちは暮らしています。

現在のライフスタイルにあった、より身近なカタチで
あること、今までにない新しい選択から、個性に
あわせて自由に選べるスタイルが、皆様のインテリア
を導くように、大切な場所を考へる。
それが、いのりオーケストラの存在です。

十人十色、ひとそれぞれ。
自分らしい祈りの姿を。

じ
ゆう
にん
に
、
と
う
の
い
の
り

千人
十祈

2 INORI ORCHESTRA



祈りの真ん中に、
美しいかたちを。

8 いのりの中心

いのりの中心

美しい記憶は、美しいものに宿る。
喜怒哀楽は言葉や数値で表せるものではありません。
形にはできない心の内側をあらわすため、芸術という文化が
生まれました。「美しさ・心地よさ」は器や人間が持つとも、
同じように感じることである不思議な感覚です。
そこに込められた思いや価値は人間共通の言語であるかの
ように、触れる人の心に高貴語りかけます。

心の奥底に秘められた様々な思いをゆたかな、美しいカタチ。
多くの言葉よりも力強い一言が魂に語るように、尽きること
のない思いを、色鮮やかに表現してくれるかもしれません。

いのりの中心 9

こちよい、
歴史のおとに、
目をとじて。



14 いのりの音

いのりの音

古来から、神聖とされる場所には音の道具が用意されています。お祭りの太鼓や、神社の前、海外では教会の鐘、祈りと音の関係は国や宗教を超え、世界共通でみられます。祈りの道具として現在まで残っている「おりんを鳴らす」作法には理由があるようです。

おりの薄んだ美しい音色を聞くことで心をしずめ、祈りに臨みたい気持ちに切り替える。ひとつの合図の役目があるといえます。家族が集まる祈りの場所。気持ちひとつに、目で美しい音色に耳を傾けてみるのもいいかもしれません。



いのりの音 15



72 いのりの飾具



いのりの飾具 73

ORCHESTRA GALLERY



82 Gallery



Gallery 83